



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

国際ロータリー会長
田中作次

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 渡邊 文敏 幹事 辛嶋 崇 会報担当 二反田 新一 クラブ広報委員長 長野 定生

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1114回例会 平成25年4月18日(木)

●本日の例会プログラム ゲスト卓話 市長卓話

◎次回例会プログラム ゲスト卓話「交通安全についての卓話」
中津警察署



前回(1113回例会)の記録

平成25年4月11日(木)

■ゲスト

NEXCO西日本 九州支社
中津工事事務所 所長
三瀬博敬氏

■出席報告

会員数 25名
免除者数 1名
対象者数 24名
本日出席者 14名
欠席者数 10名
出席率 58.33%

■ビジター

■1111回出席報告の修正

1111回欠席者 7名
メイクアップ 1名
欠席者 6名
修正出席率 70.83% → **75.00%**

●メイクアップ

矢頭(中津RC)

●欠席者

宇都宮、松本、黒瀬、長野(修)、川崎、小野

◎ロータリーソング あすという日が

◎会長の時間 会長 渡邊文敏

これまで段階的に実施されてきた「定年延長」が今月からいよいよ本格化しました。希望者全員を65歳まで雇用する義務が法人、個人を問わず全ての企業に発生します。平成10年に60歳定年制が導入されて以来、15年ぶりの改正です。



高齢化が進む日本にとって避けられない改革ですが、若者の仕事をさらに奪う結果になれば、世代間の格差が広がってしまいます。企業にとって悩みの種となるのが、人件費の上昇でしょう。何の手も打たなければ収益力は低下します。また、ベテラン社員の処遇も一筋縄では行かない問題でしょう。

ある雑誌が「定年延長パニック 会社に姥捨て山を作らない方法」というセンセーショナルな特集を組んでいました。

いろんな説がある「姥捨て山」のストーリーは2つに大別されます。1つは、息子が親を山に捨てるのが出来ず、国のお触れに背いて家にかくまったところ、その親が年の功を発揮して国の難題を解決、それを知った殿様がお触れを撤回し老人を敬うようになったという話。もう1つは、息子が親を背負って山に向かう途中、親が小枝を折っているのもその理由を尋ねたところ「お前が帰り道に迷わないように」と言われ心を打たれた息子が親を連れて帰るという話です。いずれも美談ですが、前者は現役世代がお年寄りの人生経験や能力を再認識する話。後者は、お年寄りがわが身の事よりも先に、若者の行く末を案じる話と言い換えることも出来るでしょう。

どちらにしても「65歳定年時代」になって、企業はどのような対策を取るのか。人件費を抑えながら、しかも現役社員とベテラン社員の働きがいのある職場をどうやって作っていくのか。平均寿命が80歳を超えた日本にとって難しいけど避けられない課題だと思います。



2012～2013年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2012～2013年度
国際ロータリー・テーマ

奉仕を通じて平和を
Peace through Service

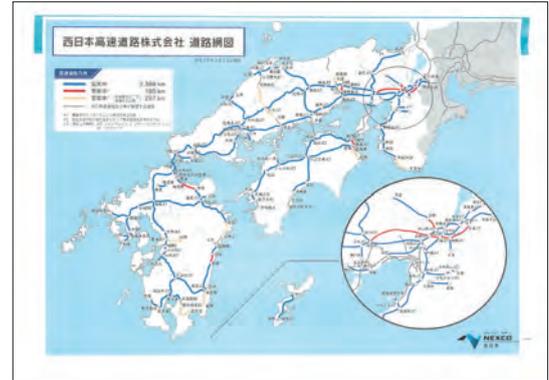
◎幹事報告 幹事 辛嶋 崇

●例会変更 中津RC→5/1(水) 休会、別府RC、別府北RC、別府東RC、別府中央RC、津久見RC、大分RC、大分東RC、大分臨海RC、大分1985RC、大分城西RC

●週報受理 中津中央RC、津久見RC

●幹事報告

- ・ロータリーの友4月号
- ・ガバナー月信4月号
- ・中津RCより5月プログラム
- ・中津中央RCより5月プログラム



◎ゲスト卓話

「高速道路が果たす役割と東九州自動車道(椎田南～中津～宇佐)の進捗状況について」

NEXCO西日本 九州支社

中津工事事務所 所長 三瀬博敬氏



■西日本高速道路株式会社の概要②

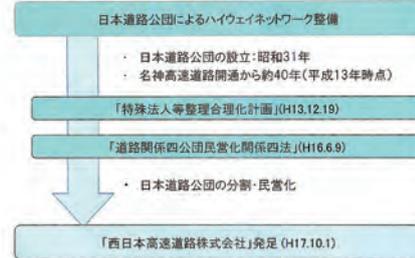
H25.3末時点

備考			
高速道路事業	営業中道路	3,388km	
	利用台数	272万台/日	平成23年度実績
	建設中道路	180km	
関連事業	サービスエリア	98	
	パーキングエリア	197	

■西日本高速道路株式会社の概要①

商号	西日本高速道路株式会社 (West Nippon Expressway Company Limited)
代表者	代表取締役社長 石塚 由成
従業員数	2,800人
本社所在地	大阪市北区堂島1丁目6番20号
資本金	475億円
設立年月日	平成17年10月1日
目的	高速道路の新設、改修、維持、修繕その他の管理を効率的に行うこと等により、道路交通の円滑化を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与する

■民営化の経緯



高速道路が果たす役割と 東九州自動車道(椎田南～中津～宇佐)の 進捗状況について

平成25年4月11日
NEXCO西日本 九州支社
中津工事事務所
所長 三瀬 博敬



■民営化の目的等

●道路関係四公団民営化の基本的枠組みについて(概要)

(平成15年12月22日 政府・与党申し合わせ)

○「民間にできることは民間に委ねる」との基本原則に基づき

- 約40兆円に上る有利子債務を確実に返済
- 真に必要な道路を、会社の自主性を尊重しつつ、早期に、できるだけ少ない国民負担の下で建設
- 民間ノウハウ発揮により、多様で弾力的な料金設定やサービスを提供

○債務返済の考え方

民営化から45年後(H62)には債務を完済

目次

- ◆西日本高速道路(株)会社概要について
- ◆有料道路制度について
- ◆東九州自動車道の整備効果について
- ◆東九州自動車道(椎田南～中津～宇佐)の進捗状況について

■民営化の枠組み

